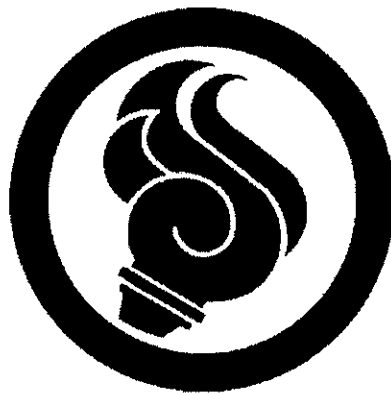


三重県競技力向上対策本部

第3回競技力向上対策委員会



光る汗、光るハートに夢三重る

(三重県スポーツ推進スローガン)

平成26年10月1日(水)

プラザ洞津 孔雀の間

三重県競技力向上対策本部
第3回競技力向上対策委員会 会議次第

平成26年10月1日(水)

プラザ洞津 孔雀の間

1 開 会

2 あいさつ

3 説明・報告事項

平成26年度競技力向上対策関連事業の進捗状況について

4 協議事項

今後の競技力向上対策に向けた課題及びその対策について

5 閉 会

説明・報告事項

平成26年度競技力向上対策関連事業の進捗状況について

	事業名	対象	取組内容
①	ジュニア選手発掘事業	ジュニア・少年選手	ウエイトリフティング、水球、飛込、なぎなた、ボート、ヨットの6競技団体において、スポーツ体験会、育成プログラム(練習会)を実施し新たなジュニア選手を発掘。
②	チームみえジュニア育成事業		各競技団体が行う将来有望なジュニア選手の育成活動を支援。(35競技団体)
③	チームみえジュニア指定、指導者・保護者研修プログラム事業		将来活躍が期待できるジュニアアスリート536名を「チームみえジュニア」として指定し、知事より指定証を交付。選手や指導者・保護者への研修会を実施。
④	中学校運動部強化指定事業		4校4部を強化指定し、合宿や遠征等の強化活動を支援。
⑤	高等学校運動部強化指定事業		26校54部を強化指定し、合宿や遠征等の強化活動を支援。
⑥	高校生トップアスリート研修事業		全国大会等で活躍した選手に、日本のトップアスリートを目指すうえで必要な資質向上のための研修会を予定。
⑦	トップジュニア育成事業		世界大会等で活躍するジュニア選手11名を「チームみえスーパージュニア」として指定し、強化活動を支援。
⑧	チームみえ国体選手強化事業	少年・成年選手共通	長崎国体20位台を目標として、入賞の可能性のある競技種別を指定し、その強化活動を支援。
⑨	トップ選手強化事業	少年・成年選手共通	競技団体が行う年間を通じた強化活動を支援。
⑩	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	成年選手	2クラブチーム、5企業チームを強化指定、1大学運動部を育成指定、1クラブチームを結成指定し、強化活動等を支援。
⑪	スポーツ指導員配置事業	成年選手	ジュニア選手の育成・強化及び指導者の資質向上を図るため、国内トップアスリートを指導者として配置。(1名:飛込)
⑫	チームみえ指導者研修事業	指導者	国民体育大会等で指導する監督、コーチ、スタッフ等を一堂に介して研修会を予定。
⑬	強化指定運動部指導者研修事業		中学校、高等学校の強化指定運動部の指導者を対象に、年3回の研修会を実施。(8月に実施。11月、1月に予定)
⑭	公認スポーツ指導者養成事業		公認スポーツ指導者資格の取得を促進するための支援。
⑮	特別コーチ派遣事業		オリンピック選手や優れた指導者を競技団体の強化活動に派遣。(ソフトボール、バドミントン、なぎなた、ウエイトリフティング、水泳)
⑯	環境整備補助事業	競技団体等	競技団体の競技力向上に係る備品を整備。(10競技団体)
⑰	医・科学サポート事業		競技団体の強化練習や国体等に帯同する医・科学スタッフの活用を支援。(6競技団体)
⑱	みえのアスリート応援・発信事業		広報誌「輝くみえのアスリートNEWS」の発行。(7月:56,000部、12月発行予定)

平成26年度中学校運動部強化指定事業
強化指定候補運動部推薦要領

三重県中学校体育連盟は本推薦要領に基づき、三重県競技力向上対策本部に中学校強化指定候補運動部を推薦することとする。

1 推薦できる運動部の対象

県中学校体育連盟加盟の競技専門部に所属する中学校運動部とする。

2 推薦基準及び手順

県中学校体育連盟は、次の基準により、競技専門部より推薦を受けた強化指定候補運動部について、平成26年度の全国大会等において、活躍が期待できる中学校運動部を協議のうえ、推薦することとする。

- (1) 競技専門部は、過去3年間の全国中学校体育大会において複数年度にわたり入賞の実績があるとき（個人種目のみの実績の場合は複数名であること）、強化指定候補運動部を1部推薦することができる。また、推薦にあたっては、競技団体とも協議を行うこととする。

※男子部・女子部・男女部での推薦については実態に応じて行うこととする。

※リレーについては個人種目として取り扱う。

※テニス競技専門部については全国中学生テニス選手権大会を全国中学校体育大会と同等の大会と見なすこととする。

- (2) 県中学校体育連盟は、競技専門部から推薦のあった場合でも、活動人数が極端に少ない場合や、強化活動が中学校運動部において実施されていない場合等については、推薦をとりやめることができる。

トップジュニア育成事業 実施方針
(対策本部実施事業)

平成26年度当初予算【3,000千円】

1 目的

県民の皆さんからの寄附金を財源として、全国大会等で優秀な成績を収め、将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模大会での活躍が期待されるジュニア選手を対象に、強化活動を支援することにより、選手の育成・強化を図る。

2 対象

将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模大会での活躍が期待される本県の中学生及び高校生とする。

3 実施内容

(1) 強化選手の指定

対策本部長（知事）は、競技団体の推薦を受けて、将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模大会での活躍が期待される本県の中学生及び高校生を強化指定する。

(2) 強化活動の支援

強化指定選手に対しては、全国大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、県外遠征等の旅費、コーチ招へいに係る謝金・旅費を支援する。

4 年間計画

- ・平成26年4月1日から随時 寄附金の募集
- ・随時 強化選手の指定、強化活動の支援

平成26年度「チームみえスーパージュニア」指定選手一覧

	競技種目	名前	所属	学年
特別枠	フェンシング競技	山田 優 (やまだ まさる)	日本大学	2年
1	ウエイトリフティング 競技	石井 未来 (いしい みく)	亀山高等学校	2年
2	水泳競技 (競泳)	阪本 祐也 (さかもと ゆうや)	大紀町立 大宮中学校	3年
3	レスリング競技	奥野 春菜 (おくの はるな)	久居高等学校	1年
4	レスリング競技	成國 大志 (なりくに たいし)	いなべ総合 学園高等学校	2年
5	レスリング競技	藤波 勇飛 (ふじなみ ゆうひ)	いなべ総合 学園高等学校	3年
6	山岳競技	田嶋 瑞貴 (たじま みずき)	津市立 橋南中学校	2年
7	山岳競技	田嶋 あいか (たじま あいか)	津高等学校	1年
8	山岳競技	義村 萌 (よしむら もえ)	津東高等学校	3年
9	自転車競技 (BMX)	瀬古 遥加 (せこ はるか)	いなべ総合 学園高等学校	3年
10	ソフトテニス競技	西岡 真里華 (にしおか まりか)	三重高等学校	3年

平成26年度大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業に係る
育成指定候補運動部推薦要領

1 目的

国民体育大会等において活躍するトップアスリートの育成を目指すため、将来活躍が期待できる県内の大学運動部を育成指定し、強化活動を支援することで、大学運動部の活性化の一助にするとともに、成年選手の重点的な競技力向上を図る。

2 対象

国民体育大会の正式競技である県内の大学運動部とする。

3 実施期間

選考結果及び助成金額の通知日（6月中旬）～平成27年3月31日

4 対象経費

全国大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、施設使用料、強化練習の一貫として参加する大会参加料、消耗品費（5万円を上限とする）、医科学スタッフ、技術指導スタッフ等の経費とする。

5 推薦基準

平成33年に本県で開催する国民体育大会において、成年種別における強化の中心となることが期待される県内の大学運動部で、次の基準をすべて満たしている運動部とする。

- (1) 平成26年度に全国大会*に出場する選手がいる。
- (2) 全国大会での優秀な競技実績もしくは指導実績を有する指導者がおり、選手の勧誘・強化に積極的に取り組んでいる。
- (3) 強化活動の拠点が存在する。

- *全国大会
- ① 全日本選手権大会
 - ② 全日本大学選手権大会
 - ③ ①・②と同じ競技レベルと認められる大会

6 推薦方法

競技団体は、推薦基準を満たす大学運動部が存在する際は、別添推薦書様式に必要事項を記入し、育成指定候補運動部として、三重県競技力向上対策本部に推薦することができる。

7 選考方法

三重県競技力向上対策本部は、各競技団体より推薦を受けた育成指定候補運動部について、推薦書・ヒアリング等をもとに競技実績、活動状況等を調査し、選考する。

8 推薦期限

平成26年6月6日（金）必着とする。

9 提出先

三重県競技力向上対策本部事務局（担当：天白）
〒514-8570 津市広明町13
TEL 059-224-2979 FAX 059-224-3022
E-mail tenpay00@pref.mie.jp

協議事項

今後の競技力向上対策に向けた課題及びその対策について

1 東海ブロック大会の結果について・・・資料（1、2）

本年度の通過数は、昨年より22種別から24種別と2種別増加したものの、年度当初の国体入賞見込の通過数が減少し、東海四県の中では、全ての種別において最も通過数が少ない状況であった。

(1) 少年種別（男子：6種別14%、女子：7種別17%）

本年度のインターハイで入賞した個人・チームが通過できなかった。
（水球、ボクシング、ソフトテニス男子、柔道女子、カヌー男子、
アーチェリー女子）

(2) 成年種別（男子：8種別15%、女子：2種別5%）

昨年得点を獲得していた競技が通過できなかった。特に女子の種目で減少した。
（フェンシング女子、ボウリング女子）

年度当初の競技団体への事前調査では、東海ブロック大会の通過数を24種別と見込んでいた（見込A・B・C）が11種別となり、国民体育大会で入賞する可能性の高い「見込A」が50%、「見込B」が60%の通過率となった。

一方、通過が厳しいと見込んでいた種別（銃剣道、バレーボール等）が、12種別通過した。

2 課題について

国民体育大会20位台の目標を達成するためには、東海ブロック大会の通過率を上げていく必要がある。

【参考】平成25年国民体育大会（東京国体）

静岡県：東海通過率20.9% ⇒ 国体順位：20位

(1) ジュニア・少年選手の育成・強化について

- ・中学校・高等学校運動部への取組等を充実させる必要がある。・・・資料（3、4）
- ・ジュニア選手（小中学生）の育成・強化の取組を充実させる必要がある。
・・・資料（5）

(2) 成年選手の強化について・・・資料（6、7）

- ・ふるさと選手等、本県出身のトップアスリートへの支援が充分図れていない状況がある。
- ・成年選手が活動するチーム数が少ない状況がある。

(3) 指導者の養成・確保について

- ・少年選手や成年選手の育成・強化に必要な優秀な指導者が少ない状況がある。

国民体育大会第35回東海ブロック大会の結果

【表1】通過数及び出場枠占有率(全体)

	1位(突破率)		2位(突破率)		3位(突破率)		合計(突破率)	
	数	率	数	率	数	率	数	率
愛知県	43	40%	18	29%	4	31%	68	36%
静岡県	19	18%	11	17%	6	46%	36	19%
岐阜県	39	35%	20	32%	2	14%	61	32%
三重県	9	8%	13	22%	2	14%	24	13%
合計	189種別(馬術:自馬競技を除く)							
H25三重	10	9%	6	10%	6	43%	22	12%

【表2】通過数の種別内訳

		成年男子			成年女子			少年男子			少年女子		
		①通過	②通過	③通過	①通過	②通過	③通過	①通過	②通過	③通過	①通過	②通過	③通過
愛知県	①通過	11	18	35%	10	13	33%	8	15	35%	11	15	36%
	②通過	5			3			6			3		
	③通過	2			0			1			1		
静岡県	①通過	4	10	20%	3	5	13%	6	9	21%	5	11	26%
	②通過	3			2			2			4		
	③通過	3			0			1			2		
岐阜県	①通過	9	16	31%	12	19	49%	10	13	30%	7	9	21%
	②通過	7			6			3			1		
	③通過	0			1			0			1		
三重県	①通過	3	8	15%	1	2	5%	3	6	14%	2	7	17%
	②通過	4			1			3			5		
	③通過	1			0			0			0		
H25三重	①通過	2	5	10%	3	6	14%	3	5	10%	2	6	13%
	②通過	2			2			2			0		
	③通過	1			1			0			4		

国民体育大会第35回東海ブロック大会成績一覧表

<H26年度・岐阜県開催>

○数字は通過順位を示す

No.	競技名	種別	種目	選手数	参考前年	代表	愛知	静岡	岐阜	三重		
1	水泳	少年男子	水球	11	2	→ 1	4	①	3	2		
		少年女子	シンクロ	2	2	→ 2	②	①	—	3		
2	サッカー	成年男子		15	1	→ 2	①	4	3	②		
		女子		15	1	→ 2	①	②	4	3		
3	テニス	少年男子		16	2	→ 2	②	①	4	3		
		少年女子					ストレート	ストレート	ストレート	ストレート		
4	ボート	成年男子	舵手付フォア	6	2	→ 2	②	3	①	4		
			ダブルスカル				ストレート	ストレート	ストレート	ストレート		
		成年女子	シングルスカル	1	2	→ 2	3	4	②	①		
			舵手付クォドルプル	6	1	→ 2	②	3	①	—		
		少年男子	ダブルスカル	2	1	→ 1	①	3	2	—		
			シングルスカル	1	1	→ 2	①	3	②	4		
		少年女子	舵手付クォドルプル	6	2	→ 2	②	3	①	4		
			ダブルスカル	2	2	→ 1	3	①	2	4		
		5	ホッケー	成年男子		18	※1	→ 1	①	3	2	4
				成年女子		18	※1	→ 1	3	2	①	—
6	ボクシング	少年男子		18	1	→ 1	2	3	①	—		
		少年女子		18	1	→ 1	3	2	①	—		
7	バレーボール	成年男子	6人制	12	1	→ 1	①	3	3	2		
		成年女子	6人制	12	1	→ 1	3	2	①	3		
8	体操	成年男子	競技	5	1	→ 1	4	3	2	①		
			新体操				休止					
		少年女子	競技	5	3	→ 3	①	②	③	4		
			新体操	7	3	→ 2	②	3	①	4		
9	バスケットボール	成年男子		12	1	→ 1	①	3	2	3		
		成年女子		12		→ 1	①	2	3	3		
		少年男子		12	1	→	①	2	3	3		
		少年女子		12	1	→ 1	①	2	3	3		
10	カエイトリフティング	成年男子		9	3	→ 3	③	4	①	②		
		少年男子				ストレート	ストレート	ストレート	ストレート			
11	ハンドボール	成年男子		15	2	→ 2	①	4	3	②		
		成年女子		15	1	→ 2	3	4	②	①		
		少年男子		15	2	→ 2	①	4	3	②		
		少年女子		15	2	→ 2	①	4	3	②		
12	ソフトテニス	成年男子		6	1	→ 1	4	2	3	①		
		成年女子		6	1	→ 1	2	4	①	3		
		少年女子		6	1	→	①	4	2	3		
小計①				381	66		69	27	9	20	13	

No.	競技名	種別	種目	選手数	参考前年	代表	愛知	静岡	岐阜	三重	
13	卓球	成年男子		3	1	→ 3	①	③	②	4	
		成年女子		3	2	→ 1	4	2	①	3	
		少年男子		3	→ 2	①	3	②	4		
		少年女子		3	→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート		
14	軟式野球	成年男子		15	3	→ 3	①	③	②	4	
15	馬術	※ 自馬競技		17	18	→ 18	3	8	4	3	
		少年 団体障害		1	→ 1	2	—	①	3		
16	フェンシング	成年男子					ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		成年女子		4	2	→ 1	4	2	①	3	
		少年男子		4	1	→ 2	②	3	①	4	
17	柔道	成年男子					ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		成年女子		3	1	→ 1	①	2	3	4	
		少年男子		5	1	→ 1	①	2	4	3	
		少年女子		3	1	→ 1	①	3	4	2	
18	ソフトボール	成年男子		15	1	→ 1	3	2	①	3	
		成年女子		16	1	→ 1	①	2	3	3	
		少年男子		16	1	→ 1	2	①	3	3	
		少年女子		16	1	→ 1	①	3	2	3	
19	バドミントン	成年男子		3	1	→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		成年女子		3	3	→ 1	3	4	①	2	
		少年男子		3	→ 1	①	4	3	2		
20	弓道	少年女子			1	→ 3	③	①	4	②	
		成年男子		3	2	→ 2	3	①	②	4	
		成年女子		3	2	→ 2	①	3	②	4	
		少年男子		3	2	→ 2	②	3	4	①	
21	ライフル射撃	成年男子	50m3×40M	1	3	→ 3	4	②	①	③	
			50mP60M K20M	1	2	→ 3	③	①	②	4	
			10m S60M・P60M	1	→ 3	4	①	②	③		
			AP60M	1	1	→ 1	4	①	2	3	
			CP60M CP30M				ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		成年女子	50m3×20W P60W	1	2	→ 2	①	3	②	—	
			10m S40W・P40W	2	→	①	②	③	④		
			AP40W	1	1	→ 1	2	①	3	4	
		少年男子	BR S40W T60W				①	②	③	④	
			10mS60JM	2	→	①	②	③	④		
			BR S60JM S30JM	1	2	→ 2	4	②	①	3	
			BP40JM	1	2	→ 2	②	3	①	4	
少年女子	10mS40JW	1	→ 2	②	3	①	4				
	BRS40JW S20JM	1	2	→ 2	4	②	①	3			
	BP40JW	1	1	→ 1	2	3	①	4			
22	剣道	成年男子					ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		成年女子		3	1	→ 1	3	4	①	2	
		少年男子		5	1	→ 1	3	2	①	4	
		少年女子		5	1	→ 1	4	2	①	3	
23	ラケットソフトボール	成年男子		10	1	→ 1	①	4	3	2	
		少年男子		23	1	→ 1	①	3	2	3	
24	山岳	成年男子	リード・ボルダリング				ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		成年女子	リード・ボルダリング	2	1	→ 1	3	2	①	—	
		少年男子	リード・ボルダリング	2	2	→ 2	3	②	①	—	
		少年女子	リード・ボルダリング	2	1	→ 1	2	3	4	①	
小計② (15馬術:自馬競技除く)				214	62		65	20	13	27	5

資料(2)

1 平成26年度全国高等学校総合体育大会入賞者一覧

団体

成績	競技種目	性別	種別	学校名
優勝	テニス	男子	団体	四日市工業
優勝	ソフトテニス	女子	団体	三重
2位	ウエイトリフティング	男子	学校対抗	四日市工業
2位	自転車競技	男子	チームスプリント	暁
4位	自転車競技	男子	学校対抗(総合)	暁
4位	自転車競技	男子	学校対抗(トラック競技)	暁
4位	自転車競技	男子	チームスプリント	朝明
5位	ソフトテニス	男子	団体	三重
5位	ソフトボール	女子	団体	伊勢学園
5位	アーチェリー	女子	団体	四日市四郷
5位	なぎなた	女子	団体	高田
5位	水球	男子	団体	四日市中央工業

個人

成績	競技種目	性別	種別	氏名	学校名
優勝	テニス	男子	ダブルス	山佐・島袋	四日市工業
優勝	ソフトテニス	女子	個人	西岡・橋本	三重
優勝	ウエイトリフティング	男子	77kg級スナッチ	柳川 友章	亀山
優勝	レスリング	男子	66kg級	藤波 勇飛	いなべ総合学園
優勝	カヌー(カヌースプリント)	男子	カナディアンシングル(200m)	樋口 周平	桑名西
2位	陸上競技	男子	八種競技	川畑 夏唯	近大高専
2位	ウエイトリフティング	男子	69kg級スナッチ	伊丹 玲於奈	四日市工業
2位	ウエイトリフティング	男子	69kg級C&J	伊丹 玲於奈	四日市工業
2位	ウエイトリフティング	男子	69kg級トータル	伊丹 玲於奈	四日市工業
2位	ウエイトリフティング	男子	77kg級トータル	柳川 友章	亀山
3位	陸上競技	男子	走高跳	加藤 健太郎	鈴鹿高専
3位	陸上競技	男子	ハンマー投	東浦 貫太	宇治山田商業
3位	体操(新体操)	男子	個人	堀 孝輔	高田
3位	体操(新体操)	男子	クラブ	堀 孝輔	高田
3位	ソフトテニス	男子	個人	田邊・内田	三重
3位	ウエイトリフティング	男子	77kg級C&J	柳川 友章	亀山
3位	ウエイトリフティング	男子	+105kg級スナッチ	川村 正輝	四日市工業
3位	自転車競技	男子	ケイリン	中村 友哉	暁
3位	なぎなた	女子	演技	落合・水谷	稻生
4位	陸上競技	男子	3000mSC	近藤 聖志	伊賀白鳳
4位	体操(新体操)	男子	スティック	堀 孝輔	高田
4位	ウエイトリフティング	男子	+105kg級トータル	川村 正輝	四日市工業

平成26年度高等学校強化指定運動部の全国高校総体入賞状況

資料(3)

NO.	競技名	強化指定運動部			
		男子	H26IH入賞	女子	H26IH入賞
1	陸上競技	四日市工業	0	宇治山田商業	—
	陸上競技(駅伝)	伊賀白鳳	個3	四日市商業	—
2	水泳(競泳)	尾鷲	0	津田学園	0
	水泳(飛込)				
	水泳(水球)	四日市中央工業	1		
	水泳(シンクロナイズトスイミング)				
3	サッカー	四日市中央工業	—	三重	0
4	テニス	四日市工業	団1、個1	四日市商業	0
5	ボート	津	0		
6	ホッケー				
7	ボクシング	久居	0		
8	バレーボール	松阪工業	—	津商業	—
9	体操(競技)	暁	0	暁	0
	体操(新体操)			名張	—
10	バスケットボール	四日市工業	0	四日市商業	0
11	レスリング	いなべ総合学園	個2		
12	セーリング				
13	ウエイトリフティング	四日市工業	個11		
14	ハンドボール	四日市工業	0	四日市商業	—
15	自転車	朝明	団、個2	/	
16	ソフトテニス	三重	団、個1	三重	団、個1
17	卓球	白子	0	白子	0
18	軟式野球	/		/	
19	相撲	宇治山田商業	0	/	
20	馬術		高田		0
21	フェンシング	津東	—	津東	—
22	柔道	四日市中央工業	0	名張	個1
23	ソフトボール	津西	—	伊勢学園	0
24	バドミントン	暁	0	皇學館	0
25	弓道	松阪工業	—	伊勢学園	—
26	ライフル射撃	久居	0	久居	0
27	剣道	三重	0	鈴鹿	0
28	ラグビーフットボール	朝明			
29	山岳				
30	カヌー	桑名西	個1		
31	アーチェリー				
32	空手道			川越	0
33	銃剣道	皇學館	0		
34	クレール射撃				
35	なぎなた			稻生	1
36	ボウリング	津田学園	個1	津田学園	0
37	ゴルフ	津田学園	個1	津田学園	0
38	スケート	—		—	
39	アイスホッケー	—			
40	スキー	—		—	

— インターハイへの出場がない

0 インターハイに出場したものの入賞なし

インターハイにない種目は同時期に行われている全国大会の結果

平成26年度チームみえジュニア指定者数

資料(5)

	競技名	小学生 (男)	小学生 (女)	中学生 (男)	中学生 (女)	合計
1	陸上競技	1	4	2	3	10
2	水泳(競泳)	2	3	5	13	23
	水泳(シンクロ)	0	5	0	5	10
	水泳(飛込)	2	0	0	0	2
	水泳(水球)	10	1	20	7	38
3	サッカー	16	16	16	16	64
4	テニス	8	6	8	6	28
5	ボート	—	—	—	—	—
6	ホッケー	—	—	—	—	—
7	ボクシング	3	0	2	0	5
8	バレーボール	—	—	—	—	—
9	体操	—	—	—	—	—
10	バスケットボール	0	0	7	7	14
11	レスリング	8	5	4	4	21
12	セーリング	0	0	3	0	3
13	ウエイトリフティング	0	0	4	0	4
14	ハンドボール	6	5	8	12	31
15	自転車競技	—	—	—	—	—
16	ソフトテニス	10	10	10	10	40
17	卓球	3	4	10	9	26
18	軟式野球	—	—	—	—	—
19	相撲	4	0	5	0	9
20	馬術	—	—	—	—	—
21	フェンシング	0	0	3	0	3
22	柔道	8	8	10	10	36
23	ソフトボール	—	—	—	—	—
24	バドミントン	6	7	12	13	38
25	弓道	0	0	0	9	9
26	ライフル射撃	—	—	—	—	—
27	剣道	0	0	10	10	20
28	ラグビーフットボール	20	2	20	1	43
29	山岳	—	—	—	—	0
30	カヌー	—	—	—	—	—
31	アーチェリー	—	—	—	—	—
32	空手道	8	3	9	7	27
33	銃剣道	—	—	—	—	—
34	クレー射撃	—	—	—	—	—
35	なぎなた	0	1	0	5	6
36	ボウリング	2	0	5	3	10
37	ゴルフ	0	2	10	3	15
38	スケート	—	—	—	—	—
39	アイスホッケー	—	—	—	—	—
40	スキー	0	0	0	1	1
		117	82	183	154	536

平成26年度チームみえジュニア指定証交付式

平成26年7月6日(日)
メッセウイングみえ

知事より指定証交付
研修会
(ジュニア選手・保護者対象)
スポーツジャーナリスト 増田明美 さん
(ジュニア指導者対象)
三重大大学教授 杉田 正明 氏



岐阜県における成年選手雇用状況

資料(7)

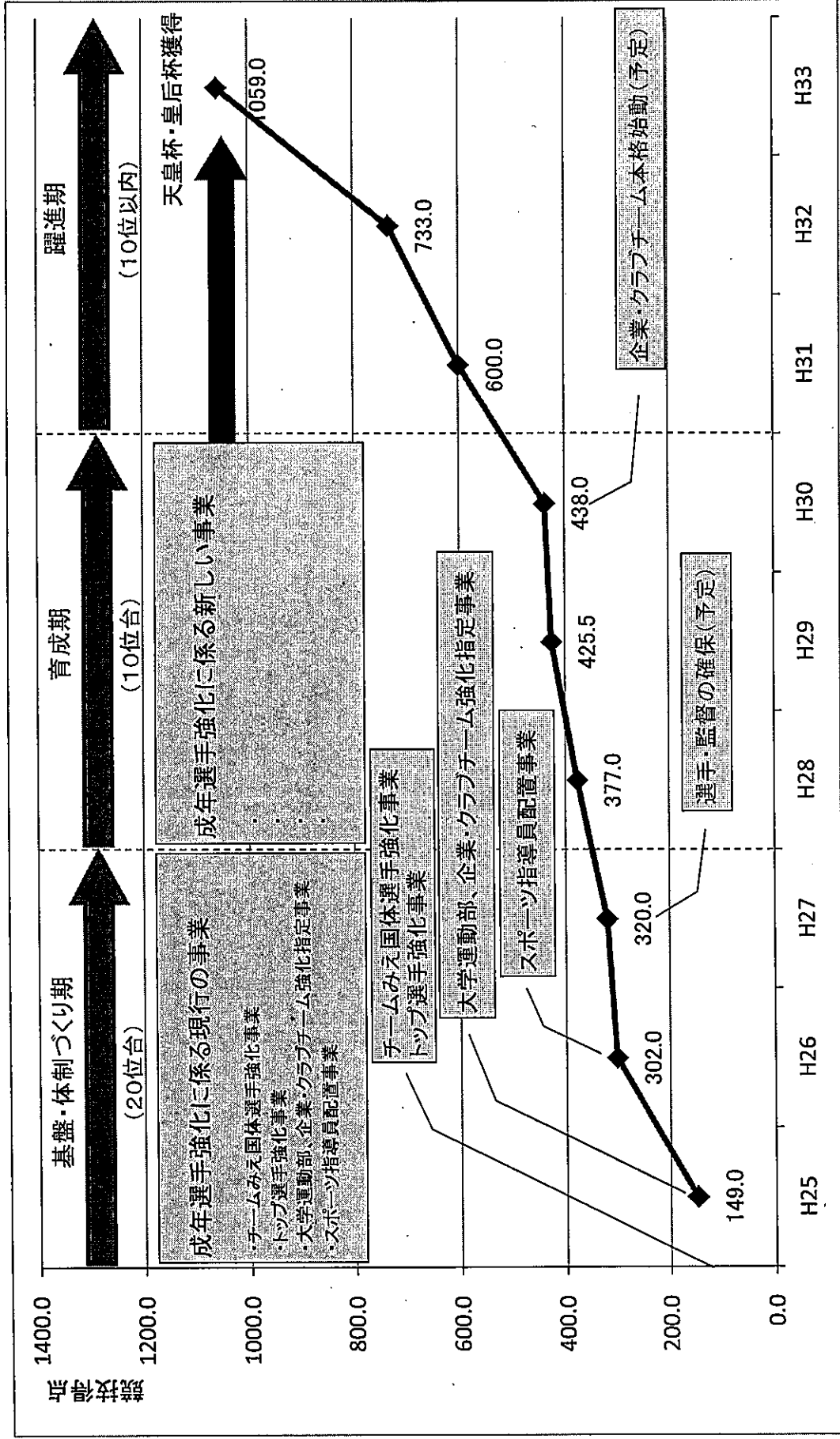
岐阜県開催	～平成19年度 (～5年前)	平成20年度 (4年前)	平成21年度 (3年前)	平成22年度 (2年前)	平成23年度 (1年前)	平成24年度 (開催年)	合計
国体順位	20	17	16	11	4	1	
スポーツ専門指導員	1	2		4	13	12	32
企業	25	36	36	49	37	39	222
市町関係			3	1		1	5
県関係	1	5	7	15	27	20	75
ES事業団*				1			1
合計数	27	43	46	70	77	72	335

*ES事業団:財団法人岐阜県イベント・スポーツ振興事業団

三重県開催	平成28年度 (5年前)	平成29年度 (4年前)	平成30年度 (3年前)	平成31年度 (2年前)	平成32年度 (1年前)	平成33年度 (開催年)

成年選手強化に係る競技力向上対策ロードマップ

資料(9)



目標競技得点

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
成年	149.0	302.0	320.0	377.0	425.5	438.0	600.0	733.0	1059.0

參考資料

三重県競技力向上対策本部 競技力向上対策委員会

(委員長：1名、副委員長：1名、委員：21名、計：23名)

【委員長：1名】敬称略

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
県関係	三重県地域連携部スポーツ推進局長	世古 定

【副委員長：1名】敬称略

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
学校・スポーツ 団体関係	公益財団法人三重県体育協会専務理事	東地 隆司

【委員：21名】敬称略、順不同

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
県関係	三重県教育委員会事務局次長	長谷川 耕一
市町関係	伊勢市教育委員会事務局スポーツ課長	濱口 昌大
	東員町教育委員会事務局社会教育課長	伊藤 英敏
産業・経済関係	株式会社 エクセディ 執行役員U人事総務部長	山村 佳弘
	株式会社デンソー 大安製作所長	堀 誠
	本田技研工業株式会社 四輪生産統括部鈴鹿製作所 総務ブロック ブロックリーダー	柳田 雅彦
	相好株式会社 代表取締役	山本 将之
学校・スポーツ 団体関係	公益財団法人三重県体育協会強化・普及委員会委員長	沖田 稔
	三重県中学校体育連盟理事長	野田 朋憲
	三重県高等学校体育連盟理事長	堀越 英範
	鈴鹿市立神戸中学校 剣道部顧問	北林 奈津子
	県立宇治山田商業高等学校 陸上競技部顧問	小池 弘文
	県立朝明高等学校 レスリング部顧問	橋爪 幸彦
	県立四日市中央工業高等学校 サッカー一部顧問	樋口 士郎
	三重高等学校 ソフトテニス部顧問	神崎 公宏
	皇學館大学 柔道部監督	佐藤 武尊
	三重バイオレットアイリス監督	池本 聡
	三重県水泳連盟強化責任者(競泳)	八田 知宏
三重県ボート協会強化責任者	丸山 亮太	
学識経験	社会医療法人峰和会鈴鹿回生病院院長	加藤 公
	三重大学教育学部教授	杉田 正明